



趣意書

一般社団法人淡路青年会議所
理事長 三浦 義崇

島民アンケート実施について

一般社団法人淡路青年会議所では、「淡路はひとつ」の理念を掲げ、地域のまちづくり、ひとづくりを目的とし、58年間多くの事業に取り組んでまいりました。その中でこれまでの私たちが行ってきた淡路島一市への活動で、多くの淡路島民への一市に対する啓発と理解を深める活動をおこなってきました。

2005年に南あわじ市と淡路市が、2006年に洲本市が誕生し、合併後15年を迎えようとしています。現在は淡路島総合観光戦略や、地域公共交通網形成計画の策定、三市での定住自立圏構想など、淡路島が一体となつての事業展開や課題解決に取り組んでいます。一方で、人口減少や少子高齢化、多様化するニーズ、コロナ禍によつてもたらされた生活様式の変容により、将来の淡路島像を描く必要がでてきています。さらに、IT技術の浸透やデジタル化の推進により、行政サービスや市民活動にも変化が見られ、さらなる合併への選択は現実味を帯びてきています。加えて、多くの島民の皆さまの淡路島一市運動への理解が深まってきていると認識しています。淡路島のさらなる発展を目指し、様々な視点で島民の皆さまの意見を取り入れながら、行政への訴えと共に、当青年会議所の事業展開にも役立てたいと考えております。

そこで、今後の行政や淡路島のあるべき将来像について、島民の皆さまのご意思、ご意見を調査するために、島民アンケートを実施いたします。何卒、趣旨をご理解いただき、ご協力ご賛同賜りますようお願い申し上げます。